

中部標準化懇話会 2023年度 第2回標準化活用勉強会 報告

開催日	2023年12月1日(金)
会場	日本規格協会 名古屋支部 セミナーホール
講演者	斎藤 春洋 氏(一般財団法人 日本規格協会)
テーマ	製品規格のビジネス活用
スケジュール	13:30~15:00 講演とディスカッション
作成者	勉強会部会幹事 古田 誠 記
報告記	

前回の第1回標準化活用勉強会では標準化(規格)の基礎について学んだが、今回はそれら標準化とビジネスの関係について講演をしていただいた。

1. 標準化の概要(前回のおさらい)
2. 標準化をビジネスで用いるための戦略
3. 標準化をビジネスに活用するためのセオリー
4. 事例に基づくセオリー解説
5. 経済産業省の支援策
6. 中小企業が標準化を実施する際の注意点

- 標準化は、他社に知ってもらい、採用してもらいたい新しい技術・プロセス・評価基準・価値観等を速やかに普及させるためのツールであり、事業戦略を練る際に欠かせない存在。

しかしながら、「難しそう」「よく分からない」「国や業界団体の仕事であり、作られたものに従うだけ」「知財があれば十分」といった認識が多く、標準化を上手く活用できていない。

事業戦略には、知財(特許)、R&A、標準化を一体的に組み込み、それらを戦略的に実行していくことが必要。

- オープン&クローズ戦略、
オープン戦略・・・普及させたい技術・基準等(規制化、標準化、開示等)
クローズド戦略・・・独占したい技術・基準等(知財独占、ブラックボックス等)

クローズド戦略だけでは技術・サービスが普及せず、事業目的が達成しない可能性がある。知財(特許)、標準化それぞれのメリット・デメリットを理解し、コア領域をクローズド戦略で守りつつ、オープン戦略を実施して市場形成を図ることが大切。

Blu-ray DiscやQRコード等の市場拡大戦略の事例を説明していただいた。

- オープン戦略として標準化を採用することになった場合の、ステップや注意点、経済産業省の支援策等を説明していただいた。(新市場創造型標準化制度によるJIS化等)

- 標準化により売上、市場を拡大させることに成功した事例を説明していただいた。
(田中電気研究所、mil-kin等)